

ながら

第30号
平成26年3月31日
発行
朝日大学職員協議会「ながら会」
題字
宮田 慶三郎

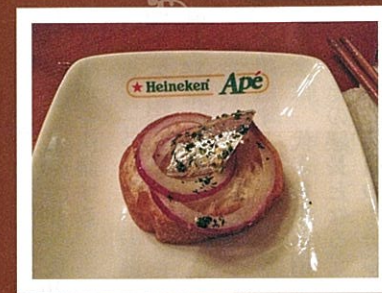


「ながら会」 冬季総会・懇親会

朝日大学職員協議会

盛大に開催される

日時 2013年12月19日
場所 岐阜都ホテル
参加人数 395名



海外出張の時、ヨーロッパの街角でビールやワインを楽しんだ経験をもつ方も多いと思います。かの地でアルコールを提供するのは街角に並ぶBarやPub、あるいはCafeと呼ばれる小さなお店です。テール単位で最後に支払う日本の居酒屋形式と異なり、基本的に「キャッシュ・オン・デリバリー」というバーカウンターで注文したときにお金を払うシステムで、その後はどの席に行こうか自由です。そこでは居合わせた70歳のおじさんと20歳の大学生がジョッキ片手に政治を語りあうような自由な空間が存在します。

そんな日常の幸せのために岐阜の食材を生かそうと、おなじ海のないイタリア内陸部の名店で修行されたシェフが、2008年6月「バル・パロツサ」をOPENされました。JR岐阜駅から玉宮町界隈の喧騒を抜けて北東に少し歩き、半地下への階段を降りると、フラメンコギターの流れる「小さなヨーロッパ空間」が皆さんを迎えてくれます。

壁に並んだワインに眼を奪われる方も多いと思いますが、私のお薦めはヨーロッパ各国のビール達です。日本では黄金色のラガービールが中心ですが、英国のエールやフランスのウイットビアとも呼ばれる小麦から作ったビールなど珍しい種類が楽



岐阜県岐阜市金宝町1-12 Port-A B1
TEL058-265-1099
営業時間/火~木、日: 17:00-24:00 (L.O 23:30)
金、土、祝前日: 17:00-25:00 (L.O 24:30)
定休日/月曜日(月曜が祝前日の場合は火曜日)

しめます。特にベルギービールの多様さには驚かれることでしょう。中でもお気に入りには、ロシユフオールという魔女が作ったかのような多様な味が混在するトラピスト(修道院ビール)で、来店した際には締めの一杯に決めていきます。

ビールの相方として、オリブオイルとニンニクでエビやきのこを煮込むアヒージョ(小皿料理)は欠かせないでしょう。添えられたバケットを浸して食べられることをお薦めします。その他、定番のパーエーシヤ(パエリア)などに加え、季節の料理が用意されており、訪れる度に違った味に出会うことができるでしょう。

ヨーロッパの街角を思い出した時、是非バル・パロツサに遊びに行ってみてください。

Special Thanks

永原國央(歯学部)、菱田亮平(事務局)、齊藤康輝(法学部、松井かおり(経営学部)、柏保正典(歯学部)、青木要介(事務局)、佐久間美由紀(事務局)、安藤美紀(事務局)、尾藤仁美(歯科衛生士専門学校)、下野正代(教職課程センター)、大島亜希子(医療職)、森下ひとみ(医療職)、柘植隆志(事務局)、今泉佳宣(教育職)、澤田佳克(医療職)、足立浜子(医療職)、伊藤田紀子(事務局)、青木百合(事務局)

編集後記

今年は、気候温和なソチで冬季オリンピックの話題で湧く中、国内では東日本を中心に記録史上嘗てない豪雪に見舞われておりました。穂積は連日の伊吹オロシですが、平穏なのでホツとしています。

ながら会では、永原國央代表幹事の下に、今年度より私も新幹事が運営を引き継ぐ節目の年を迎えています。会員の皆様には原稿のご依頼などを通じてご協力をお願いしてまいります。弊方の経験が浅く行き届かないことも多々あるのではないかと危惧しております。このたびの会報ご執筆いただきました先生方にはこの場を借りて、厚くお礼申し上げます。縦に、横にと会員相互の親睦を図りながらの、ながら会の伝統を絶やさぬよう努力してゆきたいと考えています。会員の皆様には、引き続き会を盛り立てていただきませう、よろしくお願い申し上げます。

デイリーワインと小皿料理 こだわりのビール

バル・パロツサ

解剖学分野 佐藤和彦

夏季総会・懇親会

日時 2013年6月27日

場所 岐阜都ホテル

参加人数 364名

2013年度 朝日大学職員協議会「ながら会」夏季総会懇親会



ながら会 同好会だより



フェンシング部にお邪魔



岐阜市にてイベントに参加

ながら会エアロビクス同好会は、現在毎月2回、木曜日の午後6時半からAUクラブハウスの女子更衣室内スタジオにて活動しています。結成以来、ポチポチ地道に活動を続けて早22年になります。沢山の部署からご参加いただいています。レッスンは、「初心者から慣れた方までエアロビクスダンスという確立されたプログラムに沿って楽しい健康づくり！」のために組み立てられています。ラジオ体操経験者なら、どなたでも気持ちよく参加していただけます。運動不足解消やストレス解消にもってこ

エアロビクス同好会



いです。定例のレッスン以外にも、イベントを行っています。3月にも「春はもうすぐ！脂肪燃焼体験！」と題してイベントも行います。皆さん是非ご参加ください。お待ちしています。写真は春にフェンシングクラブのイベントにお邪魔した時のものと、夏に同好会のメンバー有志で、岐阜市の某スポーツクラブのイベントに参加した時のものです。

【連絡先】
お話し
大橋たみえ
(歯学部・口腔感染症療学
講座社会口腔保健学分野)

硬式テニス同好会



2013年11月4日文化の日の振り替え休日、朝日大学テニスコートにおいて合同練習会と親善試合を開催しました。歯周病科、保存科、インプラント科、口腔生理学、口腔微生物学、衛生士部など多方面から、初参加の諏訪部先生(生理)、歯科衛生士の土蔵、竹市、藤田さんはじめ会員約20名が参加しました。開始時間直前まで雨降り、開催が危ぶまれたのですが、開始時間の10時前には白木、北後両先生によりコートの水たまりがすっきり取り除かれ、めでたく開催となりました。おかげで10時過ぎには晴天の下、ぴかぴかのコートで試合に臨むことができました。試合方式はダブルスで3ブロックの予選リーグを行い、各ブロックの上位2チーム、6チームで決勝トーナメントを行い、優勝は吉田(保存・木方)オープン参加)、2位諏訪部(生理・堀(保存)、3位白木(爾周)・関根(保存)の各ペアが入賞しました。試合前のコート整備で疲労困憊の北後先生

は予選落ち。大会にはPD、研修医、大学院生、修練医もボランティアで参加し、審判やらボールボーイやら進行の手伝いをしてくれました。当日抽選の急ごしらえのペアでしたが、経験者と初心者の組み合わせでチームを作り、試合直前まで経験者が初心者にレッスンをを行うなど、息のあったところも見られ、楽しくゆったりとした時間を過ごすことができました。3時間の熱戦のあと6号館の

【連絡先】
お話し
吉田隆一
(歯学部・歯科保存学分野)



試合後の集合写真

自然に親しむ会



スキー同好会・スノーボード同好会



夏季キャンプ 信州の自然を巡る旅

台風18号接近のニュースが伝えられる2013年9月14日(土)、「信州の自然を巡る旅」の初日を迎えた。旅程2泊3日のキャンプである。早朝に大学を出発して東海北陸道・岐阜各務原ICから安曇野IC(旧豊科IC)に向かった。



安曇野ICを下りると大王わさび農場に立ち寄った。三連休のため人混みが見え、尋常ではない。わさび畑を観察した後、畑に流れる清流(穂高川の支流の蓼川)をクリアポートのクルージングで楽しんだ。川底がはつきりと見える濁りのない清流にはマスなどの川魚が泳ぐのが見える。遠くには雲にかかる北アルプスの山々がそびえて爽快だった。

黒部ダムを後にして向かった先は白馬村であった。コテージフィールドでキャンプだ。食材を買い込んでから宿泊施設に向かった。いつものように手際よく食事の準備が進み、ビールを片手にワイワイと始まった。9月に誕生日を迎えた会員のお祝いを兼ねての宴が催された。

最終日の朝は土砂降りの雨だった。朝食時にニュースを確認すると8時に台風が豊橋付近に上陸するという。多くの高速道路と国道が封鎖された模様だ。台風の通過を待ため近くにあるジェラリゾート白馬で時間を過ごした。施設内には源泉掛け流しの温泉がある。ゆつくりと温泉を楽しんだ後、岐阜へ向けて出発した。今回のキャンプでは途中、碓氷山美術館と白馬美術館に立ち寄り、芸術にも触れることができた充実した時間を過ごすことができた。



平成26年1月26日から27日の2日間にわたり、恒例のスキー同好会とスノーボード同好会の合同ツアーを開催しました。今回の合同ツアーの会場は奥飛騨の「ほうのき平スキー場」で、穂積キャンパス・附属病院、PDI、村上記念病院の各部署から26人の会員の方々に参加していただきました。初めての参加者も7名ほどあり、往路のバスでは若干、他人行儀な感もありましたが、酒をかわし談笑するうちにお互いに打ち解け、民宿での夜の宴会や温泉、翌日のゲレンデにおけるスキーやスノーボードを十分に楽しみ、日頃のストレスを解消することができたようです。

出発時の天気予報では「雨が降るのでは？」との心配もありましたが、幸い「小雪」程度と天候の面でも幸運に恵まれました。さらに、このスキー場には圧雪された通常のコースとは別に、オフピステと呼ばれる、あえて整備の手を加えていない自然に近いコースが用意されています。このオフピステが、ツアーの間に降った雪のおかげで、良質で豊富な新雪の世界へと変わっていたのです。長年にわたるスキー同好会あるいはスノーボード同好会に参加し、精進と鍛錬を重ねた優秀な会員諸兄は、圧雪された通常のコースでは巡り会えない、「新雪の世界」を堪能し、優美なシニョールを

刻み付けてきたようです。とはいえもの、普段の運動不足がたたり、新雪に埋もれて「のたうち、息を切らす」、気持ちだけが若い同好会長の姿も見えたとかいう報告もありましたので、今後、ご参加いただけの方々もくれぐれも無理はなさらないようお願いいたします。

何と言いましても、今回のツアーにおきましても大きな事故もなく、普段は異なる部署で働く会員の皆さんと有意義な時を過ごせたことに役員一同、感謝いたします。来年度も、皆様に満足いただけるツアーを企画いたしますのでどうぞぜひご参加ください。

スキー同好会
〔連絡先〕
住友伸一郎
(歯学部・口腔外科学分野)

スノーボード同好会
〔連絡先〕
後藤洋一
(村上記念病院・リハビリテーション室)

文 松原 誠

写真同好会

現在、病院一階の幅広い廊下で第22回ながら写真同好会作品展が行われています。私が写真同好会に入会した頃は、一号館から図書館へ向かう2階の通路に作品を展示していました。展示場所が病院内に移ってから会員数が増えて、活気のある同好会になったように思います。展示してある作品を見渡しますと、質の高い作品が多いですが、私の凡庸な作品も展示してもらっています。

「写真を撮る」魅力って何でしょう。やはり、視覚を通して心が騒ぎ、その情景を留めておきたいという衝動。そしてカメラを操り、思い通りの画像を手元に残すことが出来た時の喜び。それが写真を撮る楽しさであり、魅力なのではないでしょうか。

ここ数年の私の写真同好会への出品は、2007年の留学中に撮影した写真です。やはり、日本で見慣れていたものとは異なるものを目にすると、心がザワザワと騒ぎ、「もう二度とここに来られないかもしれ

ない」という思いと相まって、反射的にカメラケースからデジカメを取り出してスイッチをONにしています。自分の心を動かした情景を上手く写真に残せた時、うれしいですね。他人からの評価なんて関係ないです。自己満足が一番大切です。この写真同好会では、会員の皆さんがご自分の気に入った作品を出品しています。出品に審査はありませんので、気が楽です。画像データを提出すれば、写真室の梅原さんが綺麗に大きくプリントしてくれます。そして、黒色のスマートな額縁に入れて展示してもらえると、自分でも「けっこう良いね!」と嬉しくなります。

皆さんも写真同好会に入って、この楽しさを味わってみませんか。今はデジタルカメラの時代なので、撮影した結果がすぐに確認できるし、記録媒体の値段も安くなっており沢山撮れるので、とても良い時代です。私が大学の写真部時代にフィルムと現像代を気にしながら写真を撮って

いた頃とは大違いです。ながら会の皆さん、何も垣根はありません、一緒に楽しみましょう!

〔連絡先〕
笠井唯克
(歯学部・口腔形態医療学講座・口腔外科学分野)



『春』 宮田 侑理事長



『秋』 宮田 侑理事長

囲碁同好会

ながら会囲碁同好会の毎年の活動の一つとして、愛知、三重、福井、石川、静岡、岐阜県の中部地区大学の教職員の参加により中部日本棋院で開催される中部地区大学教職員囲碁大会への参加がある。今年度は朝日大学が大会運営責任担当校で7月7日(日)に開催された。これまでの経歴に反し、今年は4位と残念な結果となったが、大会は大いに盛り上がり参加者の和氣藹々とした雰囲気の中、会を終えることができた。
平成25年9月20日(金)、



21日(土)には保養施設「朝日大学レイク・ハマナ・コテージ」にて第50回ながら会囲碁大会を開催した。大会の開始時間は20日17時からであったが、時間前に到着した者は早速対戦相手を見つけ練習碁を始めるほど熱のこもった大会となった。一戦を打ち終えたところで夕食休憩とした。買い込んだ食材でバーベキューに興じ、ビール、酒、焼酎を片手に対局の感想などに談義を交わしながら夕食を終えた。各自片手に酒類が入ったコップを持ち2回戦に進んだ。この頃になるとアルコールが回り、あちこちで自分の打った手を悔いる大きな声「あいたたー、何やってんだー、馬鹿だナー！」が聞こえることとなった。初日の最終戦は深夜12時半頃までかかった組もあったがリーグ戦を完了することはできず、翌日に延長となった。残り

リーグ戦の正式な対戦が始まったのは翌朝9時頃であった。残り1対戦となった頃に、時間の都合でやむを得ず帰宅しなければならぬ人が現れリーグ戦を完了することはできなかったが、参加者全員「来年もこの場で会いましょう」と固い約束をし大会を閉会とした。
囲碁は古来より「兵法を競う」思考鍛錬として重宝されてきた。最近では授業に囲碁を取り入れる大学が増えている。学生の思考力を鍛える格好のゲームとして注目され、プロ棋士が講師として授業を開講しているのは、東大を始め16大学におよび、その数は毎年増加傾向にあるという。この機会に、ルールもまだ知らないとおっしゃる方もながら会囲碁同好会に参加してみませんか。皆様の入会をお待ちいたしております。

【連絡先】
土井 豊
(歯学部)

ゴルフ同好会

今年度のゴルフ同好会は、9月8日(日)、「グリーンヒル関ゴルフ倶楽部」にてコンペを開催しました。

同好会会長(田村教授・歯学部)から「好天に恵まれ、今日一日楽しくラウンドをして下さい。なお、怪我の無いよう、懇親会では自慢話、反省話を楽しみにしています。」

早朝7時04分、各カートに乗りスタートして行きました。コース内では、大学では見られない笑顔、悲鳴、声、が飛び交っていた。ハーフを終了し各自食事しながらスコアを確認し、一喜一憂してインスタートへ。

ラウンドを終えハウス内での懇親会は、ゴルフ談議に花が咲き、次回開催日を楽しみに終了しました。

今回の開催は、2014年10月頃を予定していますので、ゴルフを楽しむ人々、ゴルフの楽しさを追求する人々、初心者及び女性の方々も大歓迎です。多くの参加をお待ちしています。

【連絡先】
田村 康夫
(歯学部・小児歯科学分野)
古市 利夫
(総務課)

実施期日：2013年
9月8日(日)
場所：グリーンヒル関
ゴルフ倶楽部



麻雀同好会

麻雀は中国で生まれ、アメリカや日本で発展したゲームで、かの文豪、菊池寛も遊んでいたそうです。わが国では1970年代に麻雀ブームが起こり、私もその当時、阿佐田哲也(直木賞作家・色川武大)の書いた麻雀放浪記を読み漁ったものでした。その時代には麻雀は賭けゲームとして見られており、麻雀荘に入りするのはいまよりよくない風潮でした。そのためか、麻雀人口も激減していましたが、最近では賭けない麻雀も普及し、また麻雀人口も増加しているようです。

朝日大学麻雀同好会は、麻雀をルールに始まり、ルールに終わる紳士淑女の知的ゲームとして活動しています。今年度は、2月13日(木)に総会を開催しました。ペテランから年一回総会時に麻雀する方まで、半ちゃん3ゲームで腕を競い合いました。優勝は、梅原氏(写真室)、二位は山内氏(清水氏(歯科矯正)でした。梅原氏が松井氏(歯科補綴)の四連覇を阻みま



【連絡先】
山内 六男
(歯学部・歯科補綴学分野)

した。
次年度も2月頃に総会を開催予定ですので、麻雀同好会に興味のある方は、山内(内線1517)までご連絡ください。

スポーツ応援同好会

今年度も本校多種目の体育会が活躍し、特に卓球日本リーグホームマッチ、ラグビー東海地区予選など東海圏での試合を中心に各会員は応援に行きました。本会設立の主目的である、スポーツ観戦をすることにより自己啓発、ストレス発散、精神的健康増進、会員相互の親睦を高める。は本校の名前が、地区、全国そして日本代表にステップアップした事に伴い充実してまいりました。

それを表わすかの様に先日、の会員懇親会では、事業所、学部、部署の垣根を越え、新入会員を含め40名を越える参加者(内女性18名)。また、年度途中にて本会世話人を退任されました梅原氏には花束を贈呈し、盛況の内に終える事ができました。

文末になりますが、幹事は大森(歯学部講師)が仰せ付かりましたので、入会希望者がありましたら遠慮なく一報をくださいませ。

toshi@dent.asahi-u.ac.jp

【連絡先】
大森 俊和
(歯学部・歯科補綴学分野)



芸術鑑賞同好会

今年度は、(1)プーシキン展 フランス絵画300年(愛知県美術館)、(2)北斎展(名古屋ボストン美術館)、(3)ザ チェコ トリオ コンサート(サラマンカホール)、(4)日原暢子箏ソロコンサート(サラマンカホール)を鑑賞する機会をもちました。

プーシキン美術館が所蔵する多くの絵画は、ロシアの二人の実業家やロマノフ王朝女帝エカテリーナ二世がパリから取り寄せたもので、フランス本国が羨むほどの名品が集まっている。印象派の作品の中で特に目を引いたのが「ジャンヌ・



(写真1)ジャンヌ・サマリーの肖像：ルノワール

サマリーの肖像(写真1)です。ジャンヌは19世紀後半の大家女優ですが、ルノワールとは近所でしたので、彼は度々足を運んで彼女を描きモデル以上の想いをもっていたと思われま

す。この絵をみていますとルノワールの想い募る感情が溢れ出ています。葛飾北斎、あまりにも有名な江戸後期の画家ですが90年の生涯の中で号名を幾度となく変え、また引越しも93回に及ぶそうです。19歳で勝川春章に入門し初めて勝川春朗の画名をもらっています。師匠没後派内の先輩と不仲になり破

門、さらに狩野派で教えをうけた師とも仲違いした。しかしこの間北斎は確実に各派の画法を習得し、遂には遠近法、陰影法といった西洋画法まで学び、後の「富嶽三十六景」の構図にも多大な影響を及ぼすことになりました。北斎は全国を頻繁に旅しており、「諸国滝廻り」の連作の中に、美濃国養老の滝も収められています(写真2)。私が今回最も興味を惹かれたのは北斎の娘の葛飾応為の「三曲合奏図」で(写真3)、今にも聞こえて来るようです。何でも北斎が娘を「おい」と呼んでいたので画名が応為となったということ。同好会の会員は勿論、会員でない方でもご希望の催しをお知らせくださいれば企画いたします。皆様のご参加をお待ちいたしております。

【連絡先】

小菅康徳
(歯学部・口腔解剖学分野)



(写真2)美濃国養老の滝：葛飾北斎



(写真3)三曲合奏図：葛飾応為

釣り同好会

釣り同好会は、9月1日曜日、愛知県師崎町の松下釣り船をチャーターしてオニカサゴ釣りに出かけた。今回の幹事が、代表幹事の参加しやすい日程を組む努力をし、釣行2カ月前に予約をいれてくれ、お陰で、代表幹事ももちろん、村上記念病院から3名の仲間(写真1)を含め10名の参加が得られた。

当日、現地集合、太公望たちはそれぞれの熱い期待を胸に松下丸に乗船、AM 6:00に出船した。船は、東方向に走り、ひよつとすると浜名湖沖かと思うほど走った。次に、このまま走るとハワイに行くのではと思うほど南に走ったところが漁場であった。その漁場は一般に、大山沖と呼ばれている。

船長の「どうぞ」の掛け声で一斉に餌のいか短冊、さんまの切り身を3本の針につけて錘180号をつけ投入。ラインが200m出たくらいが海底になる。オニカサゴは底で上を向き、自分の目の前を通過する餌に食らいつく習性

を持つている。よって、天秤仕掛けをふわふわと動か

かし、うまく餌を上下させながら底にいるオニカサゴにアピールし食い気を誘う。しかし、1投目は、全員にアタリがないまま、仕掛けを回収するように船長からアナウンスされた。すると、上がってきた仕掛けがお隣同士で絡まっていた。その後も餌を投入するごとに絡まって上がってくる。潮の流れが悪いのか釣りにならない。

この状態を見兼ねた船長が次の指示をだした。まず、全員が餌をつけ海に仕掛けを投入し3mのところまで待つ、そして船長の「どうぞ」の声で一斉に仕掛けを落とす。この方法を取ってからは絡まず、やつと、釣りらしい雰囲気は味

わえるようになった。そんな中、この釣り初参加の会員が何か食ってるというながらリールを巻き始めた。200m海底から魚信があり、魚の引きを心配(針が外れないか、糸がきれないか)しながらリールを巻きあげるとき

の釣師の気持ちはなんともいえず、また、何が掛かっているかは、かなりベテランにならない限り解らないので、多くの人がワクワクする時間である。「あと5m」の声にすばやく船頭が玉網を持って登場、海面を見つめ、「オニヤ」の声とともに獲物をキャッチ(写真2)。これがただのカサゴだと獲物をすくわないで船頭はキャビンに帰る。

今回は、潮の流れが悪く竿頭でもオニカサゴ5匹、今回の幹事ももう一人が坊主(釣果ゼロ)。代表幹事はかろうじてオニカサゴ1匹、本カサゴ1匹、アヤマカサゴ1匹にホウボウ1匹の釣果に恵まれた。

その後、これからの漁場探しにそれぞれの会員による調査が行なわれたが、今年は異常気象の影響か芳しい報告は聞かれなかった。

代表幹事の今年最後の釣行(12月23日)は、元代表幹事とながら会の時竿頭になった会員の3人が鷹巣沖の完全ふかせ釣り

に挑戦。3人の釣果は、ヒラマサ(60-69cm)19本、はまち20本、鯛2匹の大漁であった。

1匹でも多く釣りたいのが釣師の強欲なところ。休日アングラが大漁に恵まれることは少ないけれど、我々と一緒に大海原にと考えている方、2014年の同好会活動にご参加ください。

【連絡先】

磯崎篤則
(歯学部・社会口腔保健学分野)

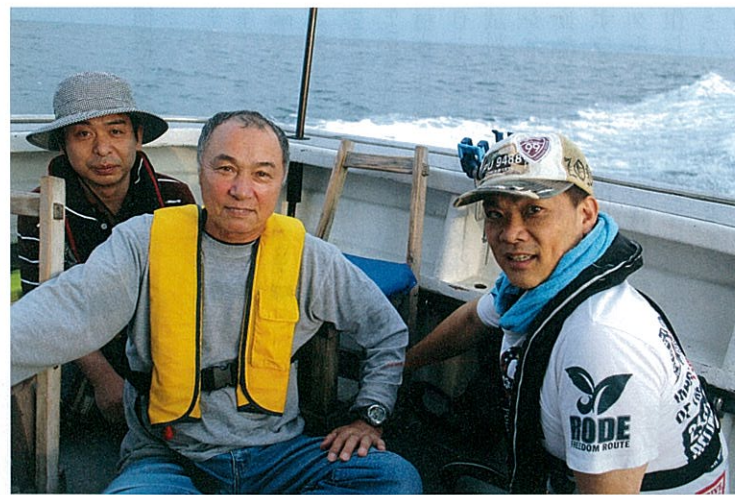


写真1

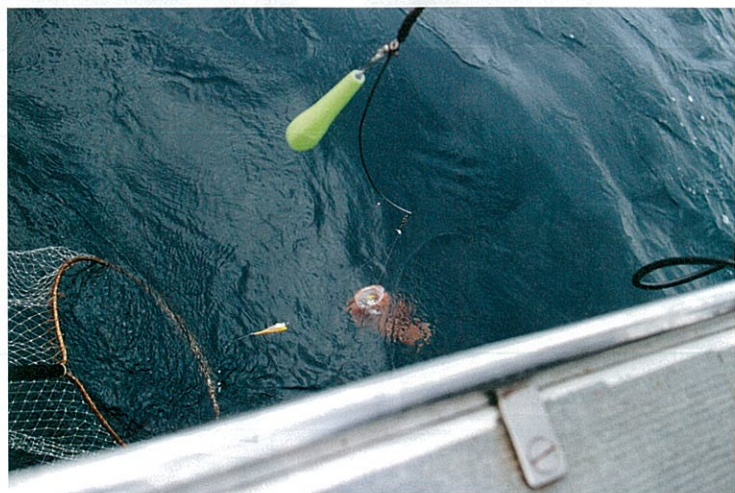


写真2



UCLAに留学して

朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座 歯科補綴学分野 羽田 詩子

私は、2012年6月から2013年1月まで、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(アメリカ、カリフォルニア州)にResearch Scholarとして朝日大学より留学をさせていただきました。半年の短い期間ではありますが、「オールセラミックレストレーションの選択基準」について、Prof. Shane White (Department of Endodontics)、Prof. Edward McLaren (Center for Esthetic Dentistry)のもと研究を行いました。

審美歯科領域において患者さんの要求が高まりオールセラミックレストレーションが広く普及してきました。オールセラミックレストレーションのシステムは1980年代から臨床応用され、キャストアブルセラミックに始まり、セラミックインゴットを加圧成型するシステム、長石に酸化アルミナを含有させたコアを使用するシステム、さらにはCAD/CAMの導入や白歯やロングスパンブリッジにも対応できるジルコニアを使用したシステムなど、強度の向上および接着システムの改良により発展を遂げています。さまざまなシステムの透過性、強度、コア材と陶材との焼付け強さ、レジンセメントとの接着強さなどを考慮して、それぞれの症例に応じたシステムを選択する必要がありますと考えます。

日本において今まで私は、オールセラミックレストレーションに関して、色調、コア材とレジンセメントとの接着、ジルコニアコア材と陶材との焼付け強さなどの研究を行ってきました。今回UCLAでは、多くのシステムの中で、実験材料として二ケイ酸リチウム含有のインゴットをプレスしてコアを製作し、その上にDentin、Enamelをレイヤリングするタイプのマテリアル(PS-emax Press)のシステムを用いた色調の実験を行いました。

例えばVITA classical ShadeでA4の支台歯の人も、最終補綴物の歯の色はA1を望むことが多いのが現状です。このDarkな

A4からLightなA1にするためには、どのシェードのインゴットを使ってどのように築盛して製作すれば患者さんの満足のいく補綴物が得られるかという問題を解決することを目的としてこの実験を行いました。インゴットの種類4種(LT, MO, HO, Value)を用いた「e-max Dentin Enamel」の厚みのパターンを変えて、それぞれの試料を製作しました。

直径6mmのプラスチック円柱を埋没し、プラスチックを焼却した鑄型にe-maxのインゴットを圧入しました。その圧入されてきたe-maxの円柱をそれぞれの厚さにブレードで切断しました。圧入されたe-maxの厚みを1.2mm、1.0mm、0.8mm、0.6mmとし、最終的な厚みが1.2mmとなるように試料を製作しました。築盛用陶材には、e-max Ceram を使用しました。e-maxのインゴットにはLT(A1、B1)、MO1、HO1、Impulse Value 1 を選択しそれぞれのインゴットに対して①

e-max 1.2mm、②e-max 1.0mm+Enamel陶材0.2mm、③e-max 0.8mm+Dentin 陶材0.2mm+Enamel 陶材0.2mm、④e-max 0.6mm+Dentin 陶材0.3mm+Enamel 陶材0.3mm、の4つの条件の試料をAシェードおよびBシェードについて製作しました。各条件について5つずつの試料を製作し、トータルで160個の試料を製作しました。

バックグラウンドとなるポーセレンには、VITA VM9(Shade A3、A4、B3、B4)を使用しました。それらを分光光度計で測色することにより、どのパターンの試料を用いるとDarkな支台歯の色を遮蔽して表現した、Lightな修復物を製作することができるとかを検討しました。その内容については、今後、From Darker to Lighter Teeth using Lithium-Disilicate Glass-Ceramics (I) Shade (II) Opacity (III) Stump Shade のテーマで研究成果発表をする予定です。

UCLAエステティックセンターのディレクターであるDr. Edward McLarenは、補綴歯科医、審美歯科医であり、自分で補綴物も作ってしまうデンタルセラミストでもあり、UCLAにおいて、審美歯科医およびデンタルテクニシャンに対してそれぞれ2年間のインターナショナルのクラスを持っています。そこで行われる講義を聴講させていただきました。大変貴重な体験をさせていただきました。

その講義のなかで、オールセラミックマテリアルを「構造的観点」と「製作方法の観点」から分類し、また、どのタイプのセラミックを選ばるか(What type of ceramic use is based on the answers to these 5 questions?)についてなど、自分の臨床にも取り入れることができる内容が多く、大変興味深く学ぶことができました。

2012年9月には、シカゴ SW Chicago City Center Hotelにて、WHITE&PINK Emulating Nature & Beyond 4th Annual Conference of the Society for Color and Appearance in Dentistry(SCAD)にて、

Dr. McLarenがプレゼンターとして登壇したため、私も、この学会に初めて参加することができました。この学会では、歯科審美領域において活躍されている著名な先生によるプレゼンテーションが、それぞれのセッション(Composite Resin、CEREC、Implant、Ceramic、Soft tissue、All-ceramic、Veneering Porcelain、Shade Selection、CAD/CAM、Whitening)において行われました。

Dr. McLarenは、臨床経験やエビデンスに基づいて、本セッションでは、CERAMIC WARS: The Return of the Ceramist Creating the Illusion of a Tooth in 3Dをテーマに講演を行いました。高い審美性を要求するセラミック修復におけるセラミストの役割は、デジタルで製作された修復物の発展により著しく変わってきました。今後、セラミストが作る芸術的感覚・表現をどのようにDigital Dentistry、コロナレーションさせるかが今後の焦点になっていくであろうことを感じました。

歯科領域におけるColor and Appearance には、さまざまなとらえ方がありま

す。部位で考えたと顔、口唇、歯肉、歯、ブラックスペースなどが挙げられます。さらにそのなかで、「対合歯か天然歯であるかインプラントなのか」、「どのよう手術を必要とし歯肉や骨がどのように再建されるか」、「前歯か臼歯か」、「1歯か多数歯か」、「修復材料は何を使うのか」、「修復材料の表面性状はどのように表現されるか」、「そして「歯冠修復は歯肉色にどう影響して見えるか」など、歯科領域のすべての治療においてこのColor and Appearance は大変大きな影響を及ぼすことを改めて考えさせられました。

2012年9月、OSCS(インプラントの学会)がロサンゼルスで、AAP(アメリカの歯周病学会)がロサンゼルスで、ダウインタウンにあるコンベンションセンターで、2012年11月、AMED(歯科顕微鏡学会)がSandiegoでそれぞれ行われ、それらの学会に多くの日本人歯科医師が発表および参加のため、ロサンゼルスに来ていましたので、多くの知り合いや友人と再会することができ、大変勇気づけられました。

ニューポートビーチで開

業している審美歯科で有名なDr. Cheryl Sheetsのクリニックに見学に行くことができたこと、海外で活躍されているセラミスト(山下恒彦さん、後藤博樹さん、林直樹さん、Aki Yoshidaさん、遠藤淳吾さん(他)にも再会できたこと、TuckerのGold Inlayでも有名なProf. Richard Stevensonの講義や臨床の場を見学させていただいたことなど、まだまだたくさんの方に残る体験もすることができました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました、朝日大学理事長をはじめ朝日大学の皆様に深く感謝いたします。海外で生活するということは大変なこともありましたが、この留学中にお世話になったり助けていただいたりした多くのみなさんのことは、ずっと忘れないようにしようと思っています。本当に凝縮された有意義な体験をさせていただき、自身の視野も広がりました。今後もこの留学を生かして頑張っていこうと思っています。



新入会員所感

ご挨拶

保健医療学部
看護学科設置準備室
中村 恵

2013年4月より朝日大学看護学科設置準備室に着任いたしました中村 恵と申します。辞令を頂いた時、これまでとは違う看護大学生の育成・看護職の養成に関わることができると大変嬉しく思ったことを思い出します。朝日大学について何も分からないままのスタートでしたが、プロジェクトチームの皆様とともに取り組んだ結果の「設置認可」は私にとって忘れられない経験となりました。ながら会では、皆様の熱気に驚きながらも、会場の雰囲気懐かしさを憶え、人の温かさを感じました。また、会報誌「ながら」を拝見し、久しぶりにゴルフや芸術鑑賞に行ってみようかと、楽しい時間を想像する機会も頂きました。ありがとうございます。

2014年4月に保健医療学部看護学科が看護職を目指す学生とともにスタート致します。第1期生が確実な一歩を踏み出せるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

ご挨拶

歯学部総合医科学講座
麻酔学分野
櫻井 学

本年度より、新たに「ながら会」に入会させていただくこととなりました歯学部 櫻井 学(さとる)です。岐阜に来て季節も一回りし、だいぶ慣れてまいりました(2回の総会・懇親会にも出席し、楽しい時間を過ごすことも出来ました)。ところで、今年は冬季オリンピックキイヤーですが、自身では鑑賞するばかりで運動する機会もめっきり減ってまいりました。元来スポーツはスキーを初めとして板ものが好きですが、今は朝の通勤時に20分程度歩く運動量に留まっております。「ながら会」には、運動系の同好会があるようですので、機会があれば是非参加させていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

基礎と臨床の架け橋になりたい

口腔機能修復学講座
歯理工学分野
駒田 裕子

平成25年4月1日より口腔機能修復学講座・歯理工学分野に助教として着任致しました駒田裕子と申します。どうぞ宜しくお願い致します。私は平成19年3月に朝日大学を卒業後、同大学で歯科医師臨床研修を終え、平成20年4月に同大学大学院で歯周病科を専攻しておりました。学位を取得後一年間のポストドクターを経て現在に至ります。学生時代から歯理工には興味があり、特に今私の専門であるアパタイトについては将来臨床で使えるような新たな物を自分で作ってみたいと思っておりますので、現在研究できる環境にいられることに感謝しております。また基礎ではありませんが、臨床もさせて頂いておりますので、患者さんの声を直接聞きそれをヒントにして日々研究に役立てております。基礎と臨床の両立はなかなか難しいですが、研究者としても医療者としても成長していけるよう日々精進したいと考えています。今後とも先生方にご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

ご挨拶

歯理工学分野
玉置 幸道

昨年4月1日に朝日大学に着任しました歯理工学の玉置幸道と申します。昭和33年の生まれで中学校まで川崎大師のすぐ近くで幼少期を過ごしました。地に縁の深いダルマ屋さんの息が多く、初詣に行けば今でも参道で何人もの同級生に会うことができます。当時は「巨人・大鵬・卵焼き」の時代で、地元川崎にはプロ野球・大洋ホエールズの本拠地があったのですが、皆そつちのことで王・長嶋に熱狂していたのも懐かしい思い出です。その後、横浜、東京と住み渡り岐阜に移りましたが、父親の出身が和歌山の新宮市で母親が愛知の豊橋市なので双方の実家からまずまず近いところに住んでいることになりました。岐阜は過去に子供を連れて飛騨高山と白川郷を観光したぐらいしか経験がありませんが、自然が豊かで四季折々に味わい深い情緒や景色を存分に楽しめるどころだと聞いていますので、これからのこの地での生活を楽しみにしています。今後ともよろしくお願ひいたします。

ご挨拶

口腔構造機能発育学講座
口腔解剖学分野
今井田 知恵

2013年度5月付けで、朝日大学歯学部・口腔構造機能発育学講座・口腔解剖学分野の助教として勤務することとなりました。

2009年度3月に姉妹校の明海大学歯学部を卒業後、朝日大学歯学部附属病院にて1年間、臨床研修を受けさせてもらいました。臨床研修が終了してからも、修練生として在籍し、朝日大学にて多くのことを学ばせていただいております。姉妹校とはいえ、他大学出身の私に対して、朝日大学出身の方たちと隔てなく、ご指導いただけること、また未熟な私をいろいろと気にかけて声をかけてくださることに感謝しております。

少しずつですが助教として慣れてきたものの、まだまだご迷惑おかけすることが多いかと思ひます。力不足な私ではありますが、尽力つくしていきますのでよろしくお願ひいたします。

ご挨拶

歯学部歯周病学分野
丹羽 崇之

今年度より「ながら会」に入会させていただきました。歯学部歯周病学分野助教の丹羽崇之です。朝日大学では入学以来、学生、研修医、大学院生、ポストドクターとして実に13年間過ごさせていただきました。助教に採用していただいたことからのこの一年間は、これまでの13年間の延長のようなつもりでございました。ところが実際は、会議や試験問題の作成、チューターなどこれまでの経験にない仕事が増え、山積みでありました。周囲の先輩方の助力によりなんとか乗り切ってまいりました。

これからはまだまだご迷惑をおかけすることになると思ひますが、少しずつでも貢献できるように日々精進したいと思ひます。「ながら会」の諸先輩方、まだまだ若輩者ではございますが、今後とも御指導御鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

ご挨拶

歯学部口腔機能修復学講座
口腔生理学分野
諏訪部 武

2013年4月に歯学部口腔機能修復学講座口腔生理学分野の講師に着任いたしました。教職員と学生が一丸となり、素晴らしい教育環境を達成している朝日大学に着任した喜びは申し上げるまでもありませんが、同時に、その責務の重大さに身の引き締まる思いがいたします。甚だ微力ではございますが、歯学教育の充実のため、さらには朝日大学の発展のために専心努力する所存でございます。ながら会の皆様の御指導・御鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

「ながら会」規約

【名称】

●第1条 本会は、朝日大学職員協議会「ながら会」と称する。

【目的】

●第2条 本会は、学校法人朝日大学(以下「本学」という。)とその職員が、建学の精神に則り、相互に相手方の立場を尊重し、かつ、理解と信頼を深め、本学の発展のため必要な協力をするに並びに会員相互の親睦と会員の福利厚生の上を旨とする。

【事業】

●第4条 本会は、その目的を達成するため次の事業等を行う。

- (1) 会員相互の親睦を深める行事の企画及び実行に関すること
- (2) 会員の勤務条件及び福利厚生等に関して本学に対し意見、要望を表明、伝達し、また、本学と協議・協定すること
- (3) 労働基準法その他法令に定める従業員の「過半数代表者」としての任務を行うこと
- (4) その他、本会の目的達成に必要と認めること

【本部及び支部】

●第5条 本会は、事務所(本部)を朝日大学内に置く。

- 2 本会は、穂積事業所、附属病院事業所及び附属村上記念病院事業所にそれぞれ支部を置く。
- 第6条 本会に、次の役員を置く。
- (1) 幹事 14名以上19名以内
- (2) 監査委員 3名以内
- 2 幹事のうち1名を代表幹事とし、幹事総数の過半数の議決により選任する。ただし、代表幹事の職を解任するときは、幹事総数の3分の2以上の議決によるものとする。
- 3 代表幹事の職務を助けるため、副代表幹事1名を置くことができる。副代

【役員】

●第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 幹事 14名以上19名以内
- (2) 監査委員 3名以内
- 2 幹事のうち1名を代表幹事とし、幹事総数の過半数の議決により選任する。ただし、代表幹事の職を解任するときは、幹事総数の3分の2以上の議決によるものとする。
- 3 代表幹事の職務を助けるため、副代表幹事1名を置くことができる。副代

表幹事の選任、解任については前項を準用する。

【幹事の選任】

●第7条 幹事は、次の各号に定める各事業所の各部門ごとに定めた数とし、各部門から相当な方法であらかじめ推薦された者のうちから総会において選任する。ただし、労働基準法第41条第2号に定める者は幹事となることできない。

【穂積事業所】

- (1) 法学部 1名
- (2) 経営学部 1名
- (3) 歯学部(村上記念病院に併任されている医系教育職員者を除く) 2名
- (4) 事務局各室・部(村上記念病院事務局を除く) 事務職等 4名
- (5) 歯科衛生士専門学校 1名
- (6) 留学生別科 1名
- (7) 教職課程センター 1名

【附属病院事業所】

- (1) 附属病院医療職 2名
- (2) 附属病院事務職等 1名
- (3) 附属村上記念病院事業所
- (1) 村上記念病院に併任されている歯学部医系教育職員 1名
- (2) 附属村上記念病院医療

【監査委員の選任】

●第8条 監査委員は、本会の会員で、幹事会において推薦された者のうちから総会において選任する。

【代表幹事等の任務】

●第9条 代表幹事等の任務は次のとおりとする。

- (1) 代表幹事は、本会を代表し、会務を統括するとともに、各事業所について第4条第1項第3号の任務を行う。
- (2) 副代表幹事は、代表幹事を補佐し、代表幹事に事故あるときはその任務を代行する。
- (3) 本会に、庶務、会計を担当するため、幹事会の選任により庶務幹事、会計幹事を各2名置くものとする。
- (4) 監査委員は、本会の業務監査及び会計監査を行う。

【幹事会】

●第10条 本会に、幹事をもつて組織する幹事会を置く。2 幹事会は、次の事項を審議する。

- (1) 総会に提案する事項
- (2) 総会で決議された事項の執行について必要な事項
- (3) 会員資格の審査
- (4) その他本会の目的を達成するため必要な事項

【支部幹事会】

●第11条 幹事会のもとに、各事業所毎に支部幹事会を置く。

- (1) 支部幹事会は、各事業所における第7条各号に定める各部門から選任された幹事により構成する。
- (2) 幹事会は、各事業所のみに関する事項と認められる事項については、支部幹事会に議決を委ねることができる。ただし、支部幹事会における議決結果について、支部長は速やかに幹事会に報告しなければならない。
- (3) 支部長は、各支部の幹事のうちから幹事会で選任する。

【役員】

●第12条 幹事及び監査委員の任期は2年とし、4月1日から翌々年3月末日までとする。任期満了直近の総会において改選する。幹事及び監査委員は、新たに幹事及び監査委員が選任されるまでの間その職務を継続する権利を有し、義務を負う。

【総会の組織等】

●第14条 総会は、会員によりこれを組織する。

●第15条 総会は、定期総会を毎年12月に開催し、臨時総会は、幹事会が必要と認めるとき開催することができる。また、会員総数の5分の1以上の会員から要求があった場合、代表幹事は30日以内に総会を招集しなければならない。

【総会の審議事項】

●第16条 総会は、この会則で定める事項を決議する。

【総会】

●第13条 4 監査委員に2人以上欠員が生じたときは、第8条により監査委員の選任を行う。

パートタイム1規程に基づき採用されている職員で週4日以上勤務する者は会員資格を有するものとする。

2 本学の役員及び参与は、会員資格を有しないものとする。

3 本会の会員資格を有する者は、入会届を第10条に定める幹事会に提出し、本会の会員となることのできる。

●第4条 本会は、その目的を達成するため次の事業等を行う。

- (1) 会員相互の親睦を深める行事の企画及び実行に関すること
- (2) 会員の勤務条件及び福利厚生等に関して本学に対し意見、要望を表明、伝達し、また、本学と協議・協定すること
- (3) 労働基準法その他法令に定める従業員の「過半数代表者」としての任務を行うこと
- (4) その他、本会の目的達成に必要と認めること

総会は、この会則で定める事項を決議する。

【総会の組織等】

●第14条 総会は、会員によりこれを組織する。

●第15条 総会は、定期総会を毎年12月に開催し、臨時総会は、幹事会が必要と認めるとき開催することができる。また、会員総数の5分の1以上の会員から要求があった場合、代表幹事は30日以内に総会を招集しなければならない。

【定期総会等】

●第15条 総会は、定期総会を毎年12月に開催し、臨時総会は、幹事会が必要と認めるとき開催することができる。また、会員総数の5分の1以上の会員から要求があった場合、代表幹事は30日以内に総会を招集しなければならない。

【総会】

●第13条 4 監査委員に2人以上欠員が生じたときは、第8条により監査委員の選任を行う。

職 2名
(3) 附属村上記念病院事務職等 2名

5 幹事会の議決は、出席幹事の過半数で決し、可否同数のときは議長が決すところによる。

(1) 支部幹事会は、各事業所における第7条各号に定める各部門から選任された幹事により構成する。

(2) 幹事会は、各事業所のみに関する事項と認められる事項については、支部幹事会に議決を委ねることができる。ただし、支部幹事会における議決結果について、支部長は速やかに幹事会に報告しなければならない。

【会費】

●第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日から3月末日までとする。

【会費】

●第22条 会費は、月額100円とし、毎月所定の期日までに納めなければならない。

【助成】

●第23条 本会は、会員相互の親睦を深めるため、諸行事を実施し、幹事会の認められた同好会活動を支援する。

【雑則】

●第24条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

2013年度 朝日大学職員協議会「ながら会」 冬季総会・懇親会

日時：2013年12月19日(木) 18時30分～
場所：岐阜郡ホテル(2階ホールルーム)

- | | |
|---|--|
| 総会
1. 開会の辞
2. 総会議案
(1) 2014年度事業計画について(資料：事前配布)
(2) 2014年度予算について(資料：事前配布)
(3) その他
3. 閉会の辞 | 懇親会
1. 開会の辞
2. 代表幹事挨拶
3. 来賓挨拶
4. 来賓紹介
5. 乾杯
6. 抽選会(第1部)
7. 体育会活動報告
8. 抽選会(第2部)
9. 閉会の辞 |
|---|--|